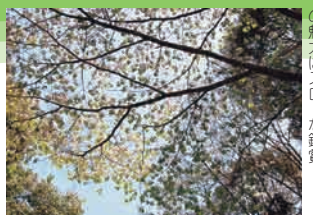
イベント Pick up!

「阿波人形浄瑠璃」秋の公演前に魅力をチェック

山里でスローに楽しむ伝統芸能

徳島県

さまざまな伝統芸能が、改めて注目を集める今、ゆっくりとした時間の流れに身を任せて「人形浄瑠璃」を鑑賞してみませんか。徳島県では、美しい山里で個性的な演目を上演。スローライフな気分も一緒に楽しめそうです。



自然の中でゆったりと。「阿波人形浄瑠璃」の魅力はスローな鑑賞

徳島といえば、阿波おどりが有名ですが、実は「人形浄瑠璃」もさかんです。私たちがよく耳にする文楽は、阿波・淡路の人形浄瑠璃がルーツだそう。

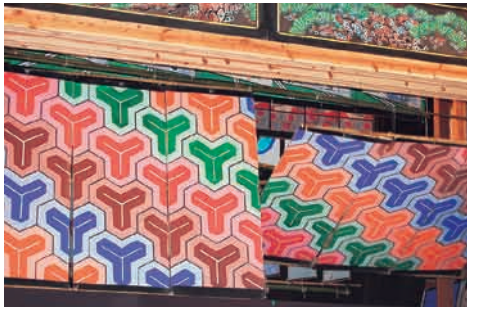
徳島県に今も息づく「阿波人形浄瑠璃」は、洗練された細やかな動きの文楽とは少し異なり、野外での公演が多かったことから、大きなしぐさで演じるのが特徴です。

また、多くは〝農村舞台〟と呼ばれる神社の境内に造られた舞台で上演され、その素朴なたたずまいには、近代的な劇場では味わえない風情が。非日常の世界へといざなわれながら、深い癒やしを感じられそう。公演前にはあらすじの説明があるため、初心者も気軽に人形芝居の面白さを楽しめますよ。

ミュージシャンUAとのコラボなど斬新な舞台も

そんな徳島では、10月3日(土)～11月3日(祝・火)に、「阿波人形浄瑠璃月間～ジョールリ100公演～」を開催(主催＝徳島県、文化立県とくしま推進会議)。能役者とのコラボや、ミュージシャンのUAが登場するお芝居など、古典だけでない斬新な舞台が楽しめます。移りゆく季節の中で、伝統芸能の魅力を体感できそうですね(詳しい日程や料金は問い合わせチェックして(別項参照)。

「それまで待てない！」という人は、京都・太秦で行われるイベントを、ぜひ



動きが見逃せない襖絵のカラクリ。最後まで飽きさせず楽しませてくれます

生写朝顔話 2

表情豊かな人形浄瑠璃は、文化財に指定されている人形もあるそう

浄瑠璃ってこんな舞台です
〈小野さくら野舞台の場合〉

「浄瑠璃ってなんだか難しそう」とちょっぴり不安な人のために、桜の時季に行われた「小野さくら野舞台」を例に、浄瑠璃の進行を紹介します。

まずは、開演の儀式「式三番叟」。三体の人形が順に登場し、舞いを奉納。独特の節回しがなんとも印象的です。続いて、悲しい恋物語「生写朝顔話」。哀れみ、懇願、動揺など、さまざまな表情が、絶妙な角度としぐさで表現される様子は、今を生きる私たちも、すっかり魅了される力が。最後にお披露目されるのは、「襖(ふすま)カラクリ」。襖絵には、場面転換に臨機応変に対応できるカラクリが施されていて、左右の襖絵を引くと中央から別の背景が出てくるものや、天地をひっくり返し裏の絵を表に出す方法などさまざま。公演後、その仕組みを気軽に質問することができる、ほのぼのとした雰囲気も魅力なんですよ。

式三番叟 1

公演の無事を祈って上演される開演の舞「式三番叟」

襖カラクリ 3

この襖絵は、昨年ルーマニアのアーティストによって作られたもの。サーカス&カーニバルと阿波の人形がコラボ

「阿波人形浄瑠璃月間～ジョールリ100公演～」PRイベント
6月14日(日)京都太秦公演

人形浄瑠璃とくしま座による「モラエス恋遍路」(瀬戸内寂聴脚本の新作)、阿波木偶箱廻しを復活する会による「三番叟廻し」などが上演されます。

日時　6月14日(日)午後2時～3時(予定)
場所　京都東映太秦映画村(JR太秦駅、花園駅歩13分)
料金　無料。※同映画村への入場料は必要。

問い合わせ
文化立県とくしま推進会議
☎088(621)2119